

三笠市議会政務活動費実績報告書

令和 7 年 3 月 14 日

三笠市議会議長 武 田 悌 一 様

会 派 名

代表者名 谷 津 邦 夫

三笠市議会政務活動費条例第10条の規定により、次のとおり政務活動費に係る支出の実績を報告します。

記

1 交付決定額 50,400 円

2 支 出 額

項 目	金 額	摘 要
調 査 研 究 費	円	
研 修 費	66,700円	研修負担金、航空券代、宿泊費
会 議 費	円	
広 報 費	円	
広 聴 費	円	
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	円	
資 料 作 成 費	円	
資 料 購 入 費	円	
合 計	66,700円	

3 添付書類 領収書、領収明細書等の支出証拠書類

- 備考 1 摘要欄には、主な支出の内訳を記載してください。
2 会派に所属していない議員にあつては、「代表者名」とあるのは「議員名」と読み替えて記載し、「会派名」の欄の記入は、必要ありません。

政務活動費領収書等貼付用紙

支出項目

研修費

金額

66,700円



三笠幸町店
北海道三笠市幸町21番1

電話：01267-4-2256

2024年12月13日(金) 12:41
領書 No. 019

お客様情報：
お受付け番号 436656
氏名 やつ くにお様

提供企業名称：
サービスマーケット株式会社
2024年12月13日(金) 12:41
お問い合わせ先：
電話番号 050-3155-3331
受付時間 09:00~18:00
メールアドレス jalrakupack@faq.rakuten.co.jp
ホームページ http://travel.rakuten.co.jp/

収納業務：(株)イーコンテックス
お問い合わせコード：
申込No 08022291241213124031
商品情報：
お申込商品代金 ¥36,700
お申込商品代金 ¥36,700

領収証

2025 年 2 月 20 日

谷津邦夫

様

★

¥30,000

但 2/20 14時～ 交通空白と地域公共交通の役割②

2/21 10時～ ライドシェアの基礎と課題

研修会受講代として

上記正に領収いたしました

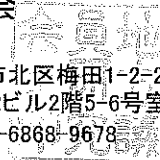
地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田1-2-2

大阪駅前第2ビル2階5-6号室

TEL 050-6868-9678



新政権
法改正により
完全リニューアル

『地域の足』が無くなる？ 交通空白解消セミナー

講師 **井原 雄人**
いはら ゆうと

早稲田大学 スマート社会技術融合研究機構 研究院客員准教授
合同会社ビジュアライト 共同代表
早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科満期退学。
博士(学術・早稲田大学)

【紹介】
大学における研究成果を実際の社会で活用することを目的に、電動バスや燃料電池車両の開発からそれらを活用した地域公共交通の計画策定や地域が主体となったコミュニティ交通導入を実施。



地域からバス、電車、タクシーが無くなる？今地方議員が取り組むべき課題～

東京
開催



2025
1/16(木) 2/20(木) 3/26(木)

2025
1/17(金) 2/21(金) 3/27(木)

交通空白と地域公共交通の役割①
10:00～12:30

- 用語の定義で役所に騙されるな
- 人口減少と高齢化を数値で確認
- 地域公共交通の定義と範囲のおさらい
- 地域公共交通の役割と課題
- 人口減少時代のまちづくりと交通の関係とは

交通空白と地域公共交通の役割②
14:00～16:30

- 地域交通法の改正の歴史と意図
- 競争どころではなくなった時代
- 地域公共交通計画の突っ込みどころ
- 自治体の役割の再確認
- 議員に取り上げてほしい交通課題

ライドシェアの基礎と課題
10:00～12:30

- 政府の交通空白解消本部の議論をおさえる
- 日本版ライドシェアの全国展開？
- 公共ライドシェア、日本版ライドシェア、乗合タクシー
コミュニティバス、デマンド運行の定義と役割
- 地域の足対策と観光の足対策

交通崩壊の解決策と各地の事例
14:00～16:30

- 交通崩壊は既に始まっている
- ローカル鉄道の再構築に関する仕組みと支援例
- 交通税導入の検討と財源策
- 自動運転ロードマップ
- DXGX新しいモビリティサービス

政務活動によるセミナー参加報告書

谷津 邦夫

三笠市地域公共交通計画が平成5年度に作成され、翌年11月「地域公共交通のあり方」をテーマに市議会は市民と意見交換を行い、生活の足として身近な問題のため関心度の高さを感じました。

地方の人口の減少や運転者不足により、公共交通の維持存続が困難になりつつあります。

地方議員研究会主催の「地域の足」がなくなる？ 交通空白解消セミナーに2日間参加し、「交通空白と地域公共交通の役割」と「ライドシェアの基礎と課題」について受講いたしました。

(新しい時代の持続可能な公共交通の主なポイント)

- ◎自治体と交通事業者の連携がないと様々な計画・制度を有効に使えない。
 - ①自治体・赤字補助だけでは維持できない。公共交通に対する役割の再確認
 - ②交通事業者・制度の活用は面倒なことが多いけど、官・民が連携しないと維持できない

- ◎地域公共交通の需要減少は交通事業者の経営努力や自治体からの赤字補填だけでは維持できない
 - ☆地域を守る基盤的サービスである価値を再認識し、利便性向上のための戦略的投資が必要
 - ☆2023年の地域交通法の法改正において、地域の関係者の連携と協働を促進するための項目が追加された。
 - ・官民の共創、事業者の共創、他分野との共創
 - ☆ライドシェアだけで移動の問題が解決することはない

住民の足である公共交通をこれからも維持するために、今回のセミナー受講の内容は大変参考になりました。